

第9期計画策定に係る意見聴取の結果について（報告）

1. 調査実施の目的

「四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画 第9期計画」の策定に向け、その基礎資料とすべく、利用者や家族等から、地域包括ケアシステム構築・充実に向け必要と思われるサービスや課題を伺い、施策の改善や充実を図るため。

2. 介護家族団体との意見交換

方法：対面による意見交換会

日時：令和5年6月27日（火）

参加人数：17人

【主な意見】

- ・緊急通報装置制度は非常に助かっている。
- ・介護用品券の要件をもう少し緩和してほしい。
- ・シニア世代では「社会に貢献したい」「仲間が欲しい」と思っている人が多いので、活躍の場や仲間づくりを支援する取り組みが必要。
- ・いつでも、どこでも、だれでも、気軽に参加できる居場所が欲しい。
- ・免許返納後の移動手段の確保について。
- ・介護従事者不足への対策について。
- ・高齢者施設、在宅看取りサービス（訪問診療、訪問看護）を増やしてほしい。
- ・『認知症基本法』への対応について など

3. 認知症カフェ（オレンジカフェ）におけるアンケート

方法：市内5か所の認知症カフェを訪問し、参加者（家族）、及び運営スタッフにアンケートを実施

日時：令和5年6月11日（日）～25日（日）

人数：本人8人、家族40人、スタッフ31人

【主な質問と回答（ご本人）】

今後どのような生活を送りたいか。

- ・気軽に（専門職に）相談できる場所がある。アドバイスをしてくれる人がいる。
- ・お金の管理・契約に関する情報が得られる。地域の見守り支援がある。
- ・同じ悩みを持つ人と接する場がある。（語り合う場がある）

今困っていることは何ですか。

- ・自由に行動できない。火を消し忘れる。すぐ忘れてしまう。
- ・独居、寂しさを感じる。

【主な質問と回答（ご家族）】

介護について、困ることや負担に感じることは。

- ・家を留守にできず、自由に行動できない。同じことを何度も聞かれる。
- ・介護に協力してくれる人がいない。相談する相手がいない。
- ・精神的に辛い。十分な睡眠をとることができない。

家族としてどのような支援があったらいいと思うか。

- ・気軽に相談できる窓口、身近な相談相手、同じ悩みを持つ話し相手（と接する機会）
- ・地域の見守り支援、専門医療機関に関する情報
- ・定年間際の男性への普及啓発

【主な質問と回答（スタッフ）】

オレンジカフェ継続のために必要な支援

- ・オレンジカフェの周知啓発（参加者が少ない。）
- ・運営スタッフの養成、専門職（多職種）による支援、運営者の交流の機会
- ・運営費用の補助、運営方法やプログラムに関する補助、送迎の支援

認知症の方が自分らしく生活するために必要なこと

- ・地域住民の理解、地域におけるサポート体制の充実（日常生活における支援）
- ・「認知症」という言葉に縛られず、物忘れや失敗があっても共に生きること
- ・多世代の認知症理解、認知症を自分事としてとらえる学びの場、認知症サポーター
- ・徘徊しても大丈夫な環境、本人の意見を言える機会